

令和8年度 活動方針

1. すべてはクリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲームのために

県内すべての審判員が福島県の競技力向上のためにカテゴリーの枠を超えて積極的に活動や交流できるように各地区や各委員会、各部会と連携を図っていきます。

インテグリティの精神（誠実さ、真摯さ、高潔さ）に基づき「リスペクト・フォー・ザ・ゲーム」を掲げ、「人間力、指導力、組織力」を高めることに努力します。この精神をあますことなく発揮するために、プレイヤーと指導者と観衆と共にバスケットボールの価値を高められるよう審判委員会としても一丸となって取り組んでいきます。

そして、よりクリーンで魅力あるゲームを提供できるよう、また県内すべての審判員が夢や希望を持って安心して活動できるよう、環境整備の実現と「チームふくしま」を支えていける審判員の拡充、その一翼を担う審判委員会を目指していきます。

2. 判定力の向上を目指して～審判講習会の充実化～

多くのSNS等メディア媒体により広く身近にトップレベルのゲームやプレイを見る機会が増え、審判インストラクター制度の普及拡大により最新のカリキュラムで学べる環境も整ってきましたが、近年のバスケットボール技術の進歩や変化に対応するためのコート上での判定力の向上には今後さらなる努力と、なお一層の指導育成の徹底と強化が必須と感じております。国内トップリーグを始め各カテゴリーの全国大会やブロック大会等で活躍する審判員を一人でも多く輩出できるような審判講習会の具現化により一体的に進めてまいります。

その一方で、若手や女性も含めた審判員の発掘、育成も急務です。各種大会や各講習会においてインストラクター制度を効果的に活用しながら、2024年度から5年計画で実施している4つのテーマ【発掘・育成・強化・普及】を軸として、持続可能な審判員の全体的な底上げと強化を推進していきます。

(1) 発掘

「初心者審判講習会」

主に審判に興味関心のある中高生を対象として出来るだけ早い時期に審判を始める機会を設けるとともに資格取得を奨励してバスケットボールのルールと技術の理解のための一助とする。特に県内リーグ戦等で審判できる高校生審判員を育成して継続指導していく。

(2) 育成

「C級・D級審判強化研修会」

正しい判定とメカニクスを理解し、質の高い審判員の育成を図るとともに、暴力・暴言・ハ

ラスメント等の不適切行為の根絶に向けて、コンプライアンス研修を通してクリーンバスケットの実現を目指す。

「3PO審判講習会」

B級審判員を対象として、最新の3POメカニクスの習得と理解を深め、試合で適切に運用する力を身につけさせてベーシックなメカニクスを追求していく。

(3) 強 化

「リーディング・レフェリー養成講習会」

全国・ブロック大会等で活躍し、今後、県内外で審判界をリードしていくことが期待される審判員の強化を図り、さらなる上級審判員の輩出につなげる。また各種大会等でも映像を用いたゲーム後の振り返りや、競技規則とプレイコーリング・ガイドラインの徹底に重点をおきながら指導をしていく。

(4) 普 及

「女性審判講習会」

より多くの女性審判員が長く継続的に審判活動を続けるとともに、さらに上のレベルを目指すことのできる活動環境の改善を図る。また、審判活動やライフイベントの両立について、意見交換を通して今後の活動意欲の向上と審判員数の増加につなげる。

「3×3審判講習会」

JBA新規事業改革2年の初年度でもあり、国内外で各種大会が開催され競技人口の増加とともに日本国内でも競技レベルが急速にアップしている3×3において、レフェリーズメカニクスの理解を深めるために5人制と異なるルールを理解と正しい判定、質の高い審判員の育成を図ることで2年後のトップリーグ担当審判員の輩出と、福島県のバスケットボールの発展につなげていきたい。

福島県全体の競技力向上のために強い「チームふくしま」を目指して引き続き取り組んでまいりますので、今後とも県審判委員会ならびに県内所属審判員へのご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

令和8年4月 県審判委員長 古川 俊和